

まちの歴史に触れる。

静寂がこころを和ませる
歴史がこころを躍らせる

多福寺



【静寂の多福寺】

写真右は参道に続く途中にある「山門」から多福寺本堂を見た様子。境内は緑が多くあり、来場者を涼しげに出迎えてくれます。写真上は多福寺本堂外観。



住所：上富 1542
駐車場：あり
バス：多福寺下車すぐ
木ノ宮地蔵堂に隣接

元

禄9年8月、今から316年前、三富新田開拓の親「柳沢吉保」が開拓農民の心のよりどころとして建立された多福寺。当時の農民はこの建立によって一体感を生み、連帯意識が芽生えるなど、農民の精神的支柱として大きな役割も果たしました。

多福寺の周辺は深い林が広がり、野鳥や、昆虫などをみることができ、緑に囲まれた自然豊かな場所ということを再認識させられます。

静寂に包まれたこの寺の歴史に思いを馳せながら、現代のあわただしい日常から心を休めて、夏の緑の葉の木漏れ日、葉擦れのささやき、風の音に癒されてみてみませんか。

古民家

先人の知恵が詰まる古民家時代をタイムスリップ

歴

史民俗資料館に隣接する「旧池上家」は江戸末期から明治初頭に建築され、「旧島田家」はおよそ200年前に建築されたものと推測されています。

古民家の中に入ると囲炉裏がまず目につきます。そして懐かしい香りが漂い訪れる人を包み込みます。夏のこの時期は、外に比べてひんやりと涼しさを肌で感じるができます。かやぶき屋根、土でできた壁。機械のない時代に、暑い夏を乗り切るために考えられた先人の知恵が古民家に詰まっています。

どなたでも古民家の中に入ることができます（月曜日、祝日を除く）ので、昔の農家の人々の暮らしに触れ、この夏、先人の知恵が詰まった古民家に訪れて、タイムスリップしてみませんか。



住所：上富 1279-3（旧島田家） 駐車場：あり
☎ 258-6655（文化財保護課）
※旧池上家は歴史民俗資料館に隣接しています。



【町内に残る2つの古民家】

写真上は歴史民俗資料館に隣接している「旧池上家」の中。古民家の雰囲気を味わいながらさまざまなイベントが行われています。写真右は上富の「旧島田家」。こちらでも体験学習などが行われ、初夏にはカブトムシの幼虫キット作りなども行います。

今も緑豊かな平地林が多く残る三芳町には、大地を開拓した先人たちの知恵が詰まっています。今も残る歴史ある建造物や文化財・伝統芸能をご紹介します。

伝統芸能

竹間沢の前田家に伝わる
里神楽と車人形

今

から約160年前、竹間沢の前田家では里神楽が行われその後、車人形が演じられるようになりました。



毎年秋に行われる資料館まつり、年末にはコピスみよして竹間沢車人形公演が行われます。



昔の娯楽と言えば歌舞伎や浄瑠璃といった伝統芸能が主流。竹間沢車人形も各地で巡業を行うほどでしたが、大正時代に衰退。一度は完全に途絶えてしまいました。そして、今、竹間沢車人形は不死鳥のごとく復活し、竹間沢の里神楽も資料館まつりでの夜神楽公演や各地の神社で奉納を行い、観る人を魅了し続けています。その背景には、後世に伝えていきたいという「魂」がそこにはありました。



車人形では演者がロクロ車に腰をかけ、人形を操作。日本に3地域のみ現存する貴重な伝統芸能で

歴史民俗資料館

みよしの歴史・文化を学ぶ
もつと町が好きになる



住所：竹間沢 877
駐車場：あり
開館時間：9:00～16:30
休館日：月曜日・祝日
☎ 258-6655

三

芳町の歴史・文化を学び、まもり、探る館。

それが歴史民俗資料館です。常設展示室では、原始・古代から近世までの時代を追った展示および産業（さつまいも）・教育（寺子屋）・芸能（竹間沢車人形）をテーマにした展示によって構成されています。特別展示室兼ギャラリーでは、テーマを絞った企画展や特別展、季節に合わせた歳時記展示などを行っています。資料館は旧池上家に隣接しておりますので、訪れた際にはあわせてお立ち寄りください。



さい。私たちの住む三芳町。先人が長い年月を費やして築き上げた三芳の歴史をこの夏、資料館で触れてみてはいかがでしょうか。（入館無料）

春になると菜の花、秋にはコスモスが歴史民俗資料館の周辺で楽しむことができます。